

5つの“あい”でみんな花咲く

東広島市立磯松中学校　　第３学年
令和８年５月８日　　第（　２　）号

新たなスタートから１か月経ちました！





新学期から１か月が経ちました。子供たちは新しいクラスの雰囲気にも徐々に慣れてきており、自分らしく生活出来ているように感じます。部活動は、１年生の入部が決まり、新体制で動きだしました。また、全国学力学習状況調査も実施し、学習の意欲も高まってきているように感じます。目まぐるしい日々の中、それぞれ勉強・部活動・学校生活を両立し、仲間と切磋琢磨しています。

参観授業ありがとうございました。





４月27日、参観授業がありました。道徳の授業で「SEL-8S」の学習を行いました。SEL-8S とは、社会性と情動の学習のことで、１年時から学年や時期の特性に応じて行ってきています。3年生となって最初となる今回の授業では、「最高学年になって」というテーマで授業を行いました。自分たちが後輩たちどのように接していけばよいか、１・2年時に学習したスキルと関連させながら、一人一人真剣に考え、活発に意見を交流させていました。その様子を多くの保護者の皆様に授業を見ていただきました。保護者の皆様にはお忙しい中、お越しいただきありがとうございました。

１ヵ月後には、体育大会も開催されます。この授業の最後に決意した‘‘がんばりどころ‘‘をそれぞれの胸に刻み、リーダーとしてこの学校を引っ張っていく姿を期待しています。

特集～磯松ソーランに向けて～

憧れだった磯松ソーランを踊る最高学年になり、事前学習として磯松ソーランの映像を見ました。そして、どんなソーランにしたいか、生徒に意気込みを書いてもらいました。

～生徒たちの意気込み～

- 昨年の大蛇より、３年生らしく迫力のある、保護者の皆さんに成長した姿を見せられるようなソーランにしたい。
- 例年とは一味違うような、感動できるソーランにしたい。そのために、動きをそろえたり、声を出したり、フォーメーションをしっかり考えてソーランを良いものしたいです。
- 伝統を引き継ぎながら、私たちの代にしかできないソーランにしたい。
- 伝統を受け継ぐ気持ちをもって、学年全員でぶつかって、最高の思い出にしたいです。全力で踊り切って、見ている人の心に残る演技にしたいです。
- 先生方や地域の方々に「今までで一番良かった。感動した。」と言ってもらえるようなソーランにしたいです。一つ一つの動きを大きくしたいです。
- 自分が一年生の時に初めて見たときに、とても太鼓や踊りがかっこよくて、夢だったので後輩にも同じような思いを持ってもらえるようなソーランにしたい。
- １・２年生に自分たちもソーランを頑張りたいと思わせられるように全力で頑張っている姿を見せられるソーランにしたい。